令和6年度　江戸川区立篠崎第二中学校　学校関係者評価報告書（学校経営計画・学校関係者評価シート）

学校教育目標	○ 探求心をもち学ぶ生徒 ○ 礼儀正しく豊かな心をもつ生徒 ○ 健やかな体をもつ生徒	目指す学校像 目指す生徒像 目指す教師像	「互いに認め合い、高めあえる学校」「保護者や地域から信頼される学校」 ①自分から進んで学び、対話を通して深く考え、行動することができる生徒　②自他の命を大切にし、仲間を思いやり、人と上手に接することができる生徒　③「篠二中」や地域を愛し、広い視野をもち、仲間や社会の役に立つことができる生徒 ①生徒の気持ちや考えを理解し、対話を大切にしながら、生徒と接することができる教職員　②生徒が自己実現のための意欲と行動力を身に付けるため、生徒の学びを支援できる教職員　③保護者の願いや社会の期待を自覚し、未来を生きる生徒を育成することができる教職員　④未来を生きる生徒とともに自己啓発と自己変革に意欲的に取り組むことができる教職員
前年度までの本校の現状	成果： ○　感染症対策で停滞していた教育活動に、生徒の自主性・主体性を取り入れ、改革・充実を推進した。 ○　保護者や地域に教育活動を公開するとともに、連携協力を深め、地域の学校としての機能を発展できた。	課題	○　教育活動のさらなる充実に向けて、前例にとらわれることなく、同僚性と協働性を発揮できる教職員集団を構築すること ○　生徒一人一人の自己有用感を高め、学力向上・体力向上を推進すること

重点	取組項目	具体的な取組内容	数値目標	達成度		「中間」自己（学校）評価(A～D)		「中間」学校関係者評価(A～D)		「年度末」自己（学校）評価（A～D）		「年度末」学校関係者評価（A～D）		次年度に向けた改善案
				9月	2月	評価	コメント	評価	コメント	評価	コメント	評価	コメント	
学力の向上	○基礎学力の充実	・学習コンテスト（国数英）年間各２回実施 ・数学単元別検定の実施	・各コンテスト目標達成者：８０％ ・各検定合格者：６０％											
	○家庭学習の充実	・ﾒﾃﾞｨｱｺﾝﾄﾛｰﾙﾁｬﾚﾝｼﾞ週間を年間２回実施	・メディア使用時間－３０％ 家庭学習時間＋１時間											
	○読書科の更なる充実	・探究的な学習の課題を学期に１回設定	・探究的な学習の成果物を学期に１つ作成											
体力の向上	○個に応じた体力向上のための取り組みの実施・充実	・体育授業時の毎時間補強運動の実施 ・運動部活動における補強運動の実施	・体力テスト結果で都平均以上４種目											
	○昼休み・家庭での運動の奨励	・昼休みの活動時間及び活動場所の確保 ・家庭での活動方法の提示	・余暇場面での運動量の増加・生徒アンケート肯定的評価８０％以上											
共生社会の実現に向けた教育の推進	○校内特別支援教育推進委員会の充実	・毎週１時間の実施 ・情報収集、共有、発信の徹底	・校内評価において肯定的評価９０％以上											
	○授業におけるユニバーサルデザインの徹底	・校内研修会の実施 ・授業観察等における指導助言	・校内評価において肯定的評価９０％以上											

不登校・いじめ対応の充実	○豊かな心の育成	・人権教室、人権作文の実施 ・ボランティア活動の奨励	・人権作文：提出率１００％ ・延べ２００名の参加												
	○ステップルーム（不登校別室）の充実	・週５日間の開室 ・支援員と担任等との連携強化	・利用生徒の教室復帰率５０％												
地域社会に開かれた学校（園）の実現	○学校ホームページ等の充実	・ホームページの更新：週４回以上 ・学校だより：月１回発行	・保護者アンケートにおける肯定的評価：９０％以上												
	○学校関係者等評価の充実	・生徒アンケート、保護者アンケートの実施（年２回）	・全質問について肯定的評価８０％以上												
特色ある教育の展開	○働き方改革の推進	・月１回の定時退勤日の設定 ・年次有給休暇１５日以上取得	・全教職員の月残業時間55時間以下 ・１５日以上取得７０％以上												
	○教員研修の実施	・年間１２回の校内研修会の実施	・教育課題研修２回 ・校内授業研究２回 ・服務事故防止研修３回+適宜 ・その他５回												